

## 直轄河川管理における対空標示（ヘリサイン）の設置について

地震・出水等の災害時において、被災した河川管理施設の速やかな特定や、はん濫状況の把握等が重要であることから、近年、防災ヘリコプターなどを用いて上空から河川の被災状態の把握が行われています。しかし、上空から見た河川は酷似した地形等によって被災の位置や河川管理施設等を迅速に特定することが困難です。

河川への距離標等の対空標示は、地震・出水等の災害時に上空から河川の被災状態を把握した位置の特定が迅速に確認でき、また、カメラ映像により河川を上空から撮影した場合、その位置を速やかに特定するための一助となるものと考えられます。

阿賀野川では、このたび、直轄河川管理における対空標示（ヘリサイン）を直轄管理区間の36箇所に設置しました（別紙）。今後も必要に応じて増設していく予定です。



# 阿賀野川対空標示(ヘリサイン)設置状況図

# 阿賀野川管内図

別紙

1 : 50,000

